

第81回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和4年度第6回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）	資料 1 - 3 - 4
2022（令和4）年7月8日	

## 新型コロナワクチン接種後の死亡として報告された事例の概要

（コミナティ筋注5～11歳用、ファイザー株式会社）

### 1. 報告状況

前回の集計対象期間（6月10日）以降、コミナティ筋注5～11歳用の副反応疑い報告において、医療機関又は製造販売業者から死亡として報告された事例の増加はなく、令和4年2月21日から令和4年6月12日までに報告された死亡事例は計1件となった（別紙1、2）。

製造販売業者による調査結果、症例の重複等が判明し報告が取り下げられことがある。増加数は取り下げ数を含めた数値であるため、取り下げ状況によっては、2回目接種後の副反応疑い事例の増加数が1～2回目接種後の報告の増加数を上回ることや、累計報告件数が前回の集計期間時から減少することがある。

なお、上記に加え、令和4年6月13日から令和4年6月24日までに、医療機関又は製造販売業者から死亡として報告された事例はなかった。

### 2. 専門家の評価

令和4年2月21日から令和4年6月12日までに報告された1事例を対象に、ワクチンと死亡との因果関係について、専門家の評価を実施（別紙1）。評価結果は、以下のとおり。

因果関係評価結果（公表記号）	件数
（ワクチンと死亡との因果関係が否定できないもの）	0件
（ワクチンと死亡との因果関係が認められないもの）	0件
（情報不足等によりワクチンと死亡との因果関係が評価できないもの）	1件

(参考1) 報告件数 (令和4年2月21日～令和4年6月12日)

(1) 接種回数<sup>注1</sup>別評価結果

	総数			
1回目	0	0	0	0
2回目	1	0	0	1
接種回数不明	0	0	0	0

注1：1件の副反応疑い報告書において、異なる接種回の副反応疑い事例が同時に報告されている場合は、当該報告書における最大接種回数を、当該報告の「接種回数」として記載・集計している。

(参考2) 報告頻度 (令和4年2月21日～令和4年6月12日)

(1) 接種回数別報告頻度

接種回数	報告件数 / 推定接種回数 <sup>注1</sup>	100万回あたりの報告件数
1回目	0件 / 1,316,647回接種	0件
2回目	1件 / 1,147,934回接種	0.9件
合計 <sup>注2</sup>	1件 / 2,464,581回接種	0.4件

注1：推定接種回数 (首相官邸Webサイト (6月15日時点掲載データ参照))。推定接種回数については、集計期間に計上された推定接種回数の差分により概算しているため、1回目 (又は2回目、3回目) 推定接種回数より2回目 (又は3回目、4回目) 推定接種回数が上回ることがある。

注2：「合計」の「報告件数」には、接種回数が不明なものも含む。



【別紙2】

新型コロナウイルスワクチン(コナベキ筋注5～11歳用、ファイザー株式会社)接種後死亡事例 死因別集計表  
(令和4年2月21日から令和4年6月12日までの報告分)  
(接種回数総計)

本頁で列挙している症状名等は、死因として確定されていないものも含め報告書に記載のあった死因と関連する可能性のある全ての症状名を計上しているものであり、当該症状等が原因で死亡したことを示すものではない。

	総計			性別不明
	男	女		
総計	3	0	3	0
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1	0	1	0
呼吸不全	1	0	1	0
心臓障害	2	0	2	0
心筋炎	1	0	1	0
心不全	1	0	1	0

注1: 6/12時点の報告内容に基づき集計。集計時点が別紙1(6/24)とは異なるため、追加報告の報告時期によっては、各症例の死因や年齢等について、別紙1とは異なることがある。

注2: 同一症例に複数の死因等の記載がある場合はいずれも計上しているため、件数の総数と症例数は一致しない。

注3: 「死因等」の記載は副反応疑い報告書の記載(接種の状況、症状の概要、報告者意見)を総合的に考慮の上、記載。資料1-1-2や資料1-2-2の「症状名(PT)」とは異なることがある。

注4: 報告書における死因等の記載が基礎疾患の増悪等とされているものについては、本資料においては、7/21以降「対応するMedDRA PT」は基礎疾患等の名称ではなく、「状態悪化」として整理している。

注5: 「血小板減少症を伴う血栓症」が死因として疑われると報告された事例については、「対応するMedDRA PT」には、令和3年10月22日までは、「血小板減少に係る症状と血栓症に係る症状の両方を併記、10月22日以降は「血小板減少症を伴う血栓症」と表記。10月22日までに報告された症例においても、10月22日以降の追加報告の際に、死因を「血小板減少症を伴う血栓症」に更新、又は死因に「血小板減少症を伴う血栓症」を追加している。

注6: 1件の副反応疑い報告書において、異なる接種回の副反応疑い事例が同時に報告されている場合は、当該報告書における最大接種回数を、当該報告の「接種回数」として記載・集計している。「接種回数総計」は、接種回数が不明なものを含む。

【別紙2】

新型コロナウイルスワクチン(コナデビ筋注5～11歳用、ファイザー株式会社)接種後死亡事例 死因別集計表  
(令和4年2月21日から令和4年6月12日までの報告分)  
(2回目接種)

本頁で列挙している症状名等は、死因として確定されていないものも含め報告書に記載のあった死因と関連する可能性のある全ての症状名を計上しているものであり、当該症状等が原因で死亡したことを示すものではない。

	総計			性別不明
	男	女		
総計	3	0	3	0
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1	0	1	0
呼吸不全	1	0	1	0
心臓障害	2	0	2	0
心筋炎	1	0	1	0
心不全	1	0	1	0

注1: 6/12時点の報告内容に基づき集計。集計時点が別紙1(6/24)とは異なるため、追加報告の報告時期によっては、各症例の死因や年齢等について、別紙1とは異なることがある。

注2: 同一症例に複数の死因等の記載がある場合はいずれも計上しているため、件数の総数と症例数は一致しない。

注3: 「死因等」の記載は副反応疑い報告書の記載(接種の状況、症状の概要、報告者意見)を総合的に考慮の上、記載。資料1-1-2や資料1-2-2の「症状名(PT)」とは異なることがある。

注4: 報告書における死因等の記載が基礎疾患の増悪等とされているものについては、本資料においては、7/21以降「対応するMedDRA PT」は基礎疾患等の名称ではなく、「状態悪化」として整理している。

注5: 「血小板減少症を伴う血栓症」が死因として疑われると報告された事例については、「対応するMedDRA PT」には、令和3年10月22日までは、「血小板減少に係る症状と血栓症に係る症状の両方を併記。10月22日以降は「血小板減少症を伴う血栓症」と表記。10月22日までに報告された症例においても、10月22日以降の追加報告の際に、死因を「血小板減少症を伴う血栓症」に更新、又は死因に「血小板減少症を伴う血栓症」を追加している。

注6: 1件の副反応疑い報告書において、異なる接種回の副反応疑い事例が同時に報告されている場合は、当該報告書における最大接種回数を、当該報告の「接種回数」として記載・集計している。「接種回数総計」は、接種回数が不明なものを含む。